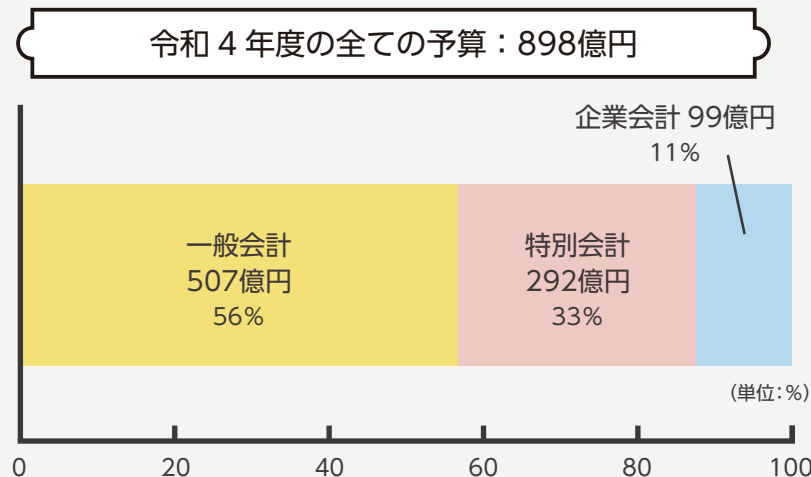




一般会計とは・・・

市の基本的な仕事(福祉、教育など)を行う予算です。主に市税で賄っています

特別会計とは・・・

国民健康保険など、特定の収入がある独立した予算です。収支を明確にし、一般会計と分けています(全10会計)

企業会計とは・・・

自らの収益で運営している上下水道事業のことです

今年度の一般会計当初予算額は507億円。前年度と比較して12億円(2.4%)の増額となりました。予算編成に当たっては、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に「活力ある地域づくり」「デジタル技術の活用」「子ども子育て支援の強化」の3つを重点的な施策とし、市政運営に取り組みます。コロナ禍にあっても行政サービスを安定的に提供できるよう、各種施策や事業の精査を行い、限られた財源を有効活用するため、選択と集中を重視した予算編成となっています。

令和4年度

古河市の予算

一般会計 **507** 億円
(前年度比 2.4%増)

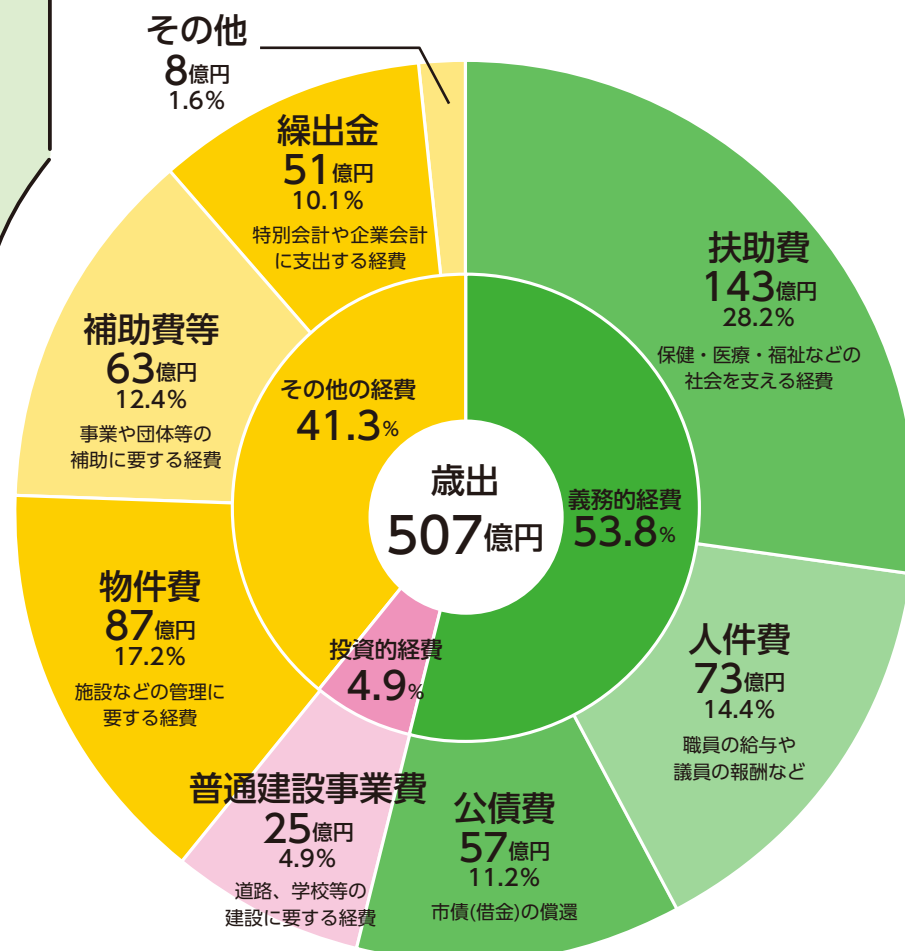
歳出は扶助費が増加

扶助費は高齢化の進展や子育てをしている人たちへの支援拡充により年々増加しています。今年度は、障がい福祉サービス費や生活保護費の増加もあり、合併直後と比較すると82億円増加し過去最大の予算額となります。

■扶助費の増加額
H18決算：61億円
R4当初：143億円 ← +82億円

古河市が支払うお金の内訳

一般会計 歳出

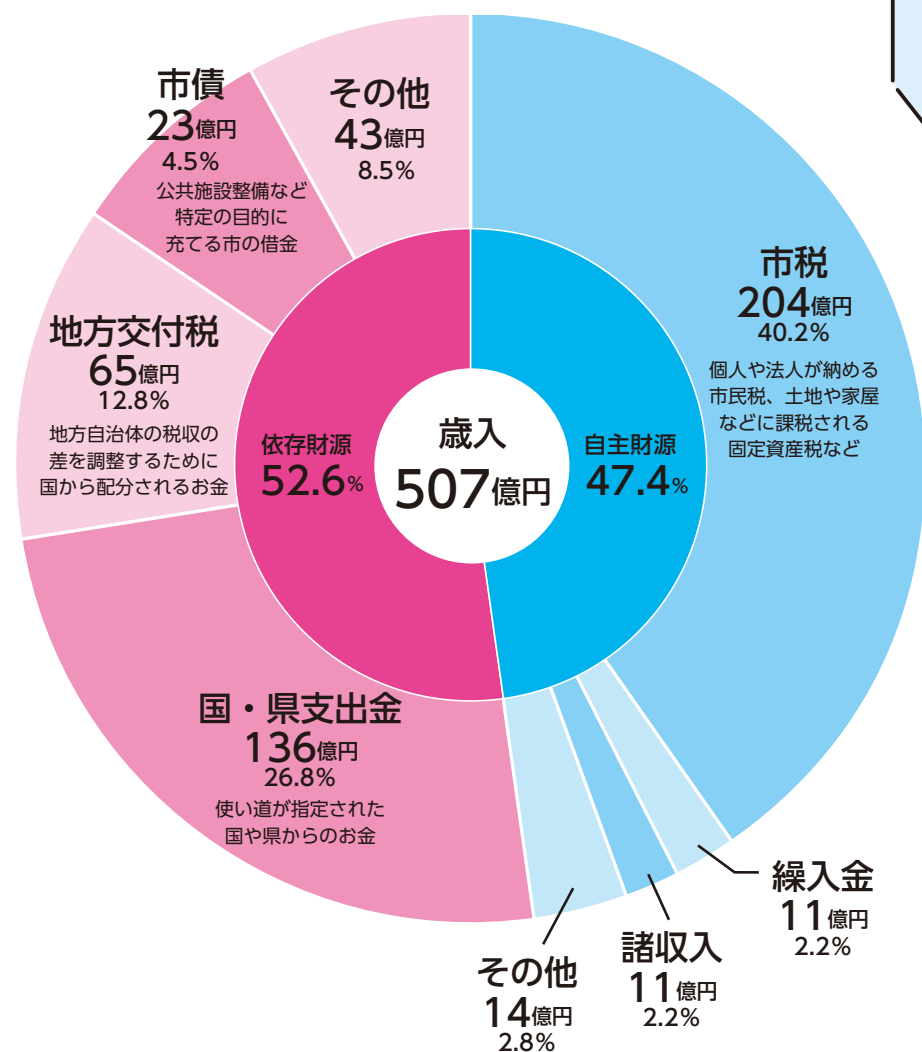


義務的経費と投資的経費とは？

扶助費や人件費など、支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費を義務的経費と言い、道路や学校等の建設に要する経費を投資的経費と言います。

古河市に入るお金の内訳

一般会計 歳入



歳入は市税が増加

市税では企業業績の改善や新築家屋の増加により、法人市民税や固定資産税の増加が見込まれることから、前年度に比べ12億円の増加となります。

■市税の増収額
R3当初:192億円
R4当初:204億円 ← +12億円

自主財源と依存財源とは？

市が自ら徴収するお金である自主財源に対し、国から定められた目的のために交付されるお金を依存財源と言います。そのため、自主財源の割合が大きいほど、行政運営がしやすくなります。

※端数処理の関係で数値が一致しない場合があります。